平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート						
	3 – 1 – 4 十分な消防力が整っている					
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち				
	個別目標	災害への対応力を高める				
	めざす成果	十分な消防力が整っている				
		迅速な消防体制、救急救命体制が維持され、火災や事故による被害が最小限に抑えられています。				

「めざす成果」を達成す めざす成果	るための施策展開(ロジン	ックツリー) 取り組み内容	<b>T#</b> 5	+C 3/ 80
めさす成果	施束の展開	取り組み内容	事業名	担当課
3-1-4 十分な消防力が整ってい る	3-1-4-1 市民、地域、事業者の火 災対応力や応急手当能力		消防啓発事業 消防功労者等表彰事務 火災予防広報事業	警防課 消防総務課 予防課
	を強化する	火災予防や救命活動への意 識啓発を行い、速やかな対応 ができるようにする	少年消防団支援事業 住宅防火対策事業 応急手当普及啓発事業 高度救急資機材等整備事業	予防課 予防課 救急救命課 救急救命課
			救護活動用機材整備事業 消防団員等公務災害補償事業	救急救命課消防総務課
		"当时团小时" 九八维特 点上	消防団車両維持管理事業 消防団員被服貸与事務 消防団車庫詰所施設維持管理事務 消防団活動用資機材整備事業	警防課 警防課 警防課 警防課
		を図る	消防団運営支援事務 消防団車庫詰所整備事業 消防団員手当等支給事務	警防課 警防課 警防課
			消防団員健康管理事務 消防団員研修·技術向上支援事業 防火管理·保安体制等確立支援事業	警防課 警防課 予防課
		事業所からの出火を防止する とともに、被害の拡大を防ぐ		予防課 予防課 予防課
	3-1-4-2 火災などの被害を最小限 にするため、迅速かつ効 率的、効果的な活動を行う	③ 消防隊や救急隊が、迅速に現 場に到着できる体制を整える	119番等受信出動指令事務 通信指令装置維持管理事務	指令課 指令課
		消防隊等の能力が最大限に	消防職員研修事業 消防水利施設維持管理事業 消火栓設置事業 防火水槽設置事業 消防活動用資機材整備事業	消防総務課 警防課 警防課 警防課 警防課
		発揮できる体制、設備を整える	消防車両整備事業 都市間等災害協力推進事業 メディカルコントロール推進事業 消防車両維持管理事務 消火活動事業 救助活動事業 救急活動事業	警 警 救 消 消 消 消 防 等 署 署 署 署 署 管 管 管 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理
		**************************************	消防運営検討事務 消防吏員採用事務	消防総務課消防総務課
		消防行政を円滑に運営するとともに、消防職員の良好な職務環境を整える	消防史員採用事務 消防被服等貸与事務 消防庁舎維持管理事務 消防活動管理事務	消防総務課 消防総務課 警防課 消防署管理

		前期基本計画			後期基本計画		
成果を計る主な指標	指標の名称	計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 火災発生率(人口1万人あ たりの火災発生件数)	3. 0件	2. 6件	2. 5件	3.0件	2. 7件	2. 6件
	② 救命講習受講者資格取得者数 (累計)	10, 190人	19, 190人	24, 474人	27, 594人	28,000人	35,000人
	③ 救急車の医療機関到着まで の所要時間			36.8分	37.8分	36.0分	36.0分

所 管 部

消防本部

## 【市民、地域、事業者の火災対応力や応急手当能力を強化する】 ・市内小学5・6年生及び中学2年生の授業内で救命講習を行い、小学 校5校で561人に心肺蘇生トレーニングキッドを活用した講習を実 施するとともに、中学校4校で1,040人に普通救命講習を実施しま ・市民に対しAEDの設置場所及び使用方法の周知を図るため、11 月から毎月第一土曜を「AEDの日」と定め、学習センターで AED及び心肺蘇生法の実技講習会を4回実施しました。 平成26年度の ・救命講習会を122回開催し、3,120人が受講しました。

## 取り組み内容

【火災などの被害を最小限にするため、迅速かつ効率的、効果的な活動

- ・救急隊5隊を配置し、傷病者に応急処置又は救命処置を行うととも に、医療機関へ9,596人を搬送しました。
- ・救急救命士の知識・技術の維持及び向上を図るため、19人が各種 認定資格を取得し、20人が教育研修を受講しました。
- ・消防用活動資機材や高規格救急自動車、非常時災害対策車などの 消防車両の計画的な更新を行い、災害対応力を強化しました。

## 構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)

- 救急活動の高度化が推進され、救命処置の範囲拡大等に対応する ため、救急隊員に各種研修及び訓練等を行う必要性があります が、救急出動等により訓練の時間が十分に確保できにくくなって います。
- ・市内のどこにいても、AEDを活用して早期に応急手当を行える よう、環境を整備する必要があります。
  ・救急車の医療機関到着までの所要時間が延びており、時間短縮の
- ため平成27年4月から救急車を1台増車する予定ですが、医療機関 決定までの時間や市外への搬送件数の増加、高齢者からの情報収 集遅延により、大幅な時間短縮は難しくなってきています。
- 気象状況や生活形態の変化により、災害等の対応についても多種 多様化しており、現状に即したより有効な災害活動ができるよ う、職員の訓練や研修と併せ、資機材の充実が必要となっていま

今後の展開方針	注)例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の 記載をしていません。			
新規事業の立案		(該当する事務事業)		
既存事業の拡充	AEDについて、計画的に増設していくとともに、設置場所の周知方法についても検討していきます。	(該当する事務事業) 応急手当普及啓発事業及 び高度救急資機材等整備 事業		
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)		
事業の効率化		(該当する事務事業)		
その他見直し		(該当する事務事業)		